

「新潟県の地方自治」公開講座 明治初期の地方議会

新潟県政記念館はもと、新潟県会議事堂だった。ここまでは知っている人もいます。しかし、記念館は明治16年竣工の洋風建築としての価値だけでなく、議会制度受容期に帝国議会議事堂に先だって建てられた本格的な議事堂建築としての意味は、まだあまり知られていないように思います。

議事堂は政治の場という権力を表すだけでなく、そこでどのような会議が行われるかの運用を規定するものでもあります。このミニ公開講座では、明治の議会制度受容期に思いをはせながら県政記念館から読み取れることを解説します。

公開講座はどなたでも無料で聴講できます。マスクの着用やソーシャル・ディスタンスの確保など、一般的な感染予防対策をお取りになり、改装休館前の新潟県政記念館においでください。

【日時】 令和4（2022）年10月22日（土）11:30～12:30

【講師】 田口一博（議会学：国際地域学部）

【内容】 ・新潟県政記念館の概要について（記念館職員）

- ・創生期の新潟県会と自由民権運動
- ・新潟県会議事堂の特徴
- ・国会議事堂の建設と地方議会議事堂の変遷
- ・権力の館としての議事堂

【主催】 新潟県立大学、新潟県政記念館

【会場】 新潟県政記念館（旧新潟県会議事堂）

951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-3

※会場は駐車スペースが限られております。お車でのご来館はご遠慮ください。

※冷暖房設備はございません。気候に合わせた服装でお越しください。

【事前申込み・お問い合わせ】 [新潟県政記念館](#)

TEL/FAX 025-228-3607 E-mail kensei@pony.ocn.ne.jp



議員が向かい合う明治期の議席配置（新潟県政記念館）



昭和7年改築後の新潟県会議場（新潟県議会史昭和編二）